

# 巣 助け合いの心が大切 鴻 第38回ふれあい広場

鴻巣市の川里農業研修センターと川里中央公園「れあい広場」(同市社会

福祉協議会・同広場運営委員会主催)が開催されました。

字がどういうものか知ってもらえれば。体験を通じて興味を持ってもらえたらうれしいです」と話しました。

ボランティア学科の卒業生を対象に行ったフオロアップ講座で、ポッチャを学んだ「ポッチャサポーター」によるポッチャ交流会も大人気。老若男女問わず多くの人が参加し、終始盛り上がりがありました。

このす手話サークルと同市聴覚障害者協会が、手話教室などを実施。手話体験では名前やあいさつなどを学び、来場者も手話で自己紹介できるようなると、うれしそうに表情を見せていました。

同市生活支援体制整備事業の一環として同協議会が開催した、「美味しいコーヒーマン」の淹れ方講座「受講生によるコーヒーマン」のプレゼンとも大盛況。受講した70歳代男性の井上さんは「飲んでくれた人の笑顔が励みになります。今後も催しなどで協力できれば」と話しました。

同広場は、障がいの有無や年齢に関係なく、市民がふれあい、語り合うことで互いを理解し合うきっかけとなることを目的としたイベントです。

同協会の荻原さんは、音声を変換するアプリを活用するなどコミニケーションの取り方が広がってきたことなどを手話を通じて紹介し、「みんながもっと手話を楽しく覚えてほしいです」と笑顔で伝えました。

盲導犬の折り紙講習などを行ったのは「ハーネスクラブ」(若山成子会長)。視覚障がいを持つ



手話体験の様子

点字体験と点字図書展示を行ったのは点字サークル「円」。点字は縦3つと横2列の点を組み合わせで1つの文字を作ります。とても細かい作業のため苦労する人も多い中、早めにコツをつかんでスイスイと打つ参加者もいました。

同協議会のおとな大学は「地域の手作りした物を購入し、コーヒーマン香りがよくおいしかったです。手話も勉強になりました。やってみたいと思います」

は「地域の手作りした物を購入し、コーヒーマン香りがよくおいしかったです。手話も勉強になりました。やってみたいと思います」

メンバーは「盲導犬も番号などはわからないので、声をかけていただけると助かります」と話し、副会長の加藤順子さ

んは「こうした機会を通じて盲導犬への理解を少しでも深めていただければ」とほほえみました。女性来場者の中島さん

は「地域の手作りした物を購入し、コーヒーマン香りがよくおいしかったです。手話も勉強になりました。やってみたいと思います」

は「地域の手作りした物を購入し、コーヒーマン香りがよくおいしかったです。手話も勉強になりました。やってみたいと思います」

は「地域の手作りした物を購入し、コーヒーマン香りがよくおいしかったです。手話も勉強になりました。やってみたいと思います」